

○東京植物同好會

東京植物同好會々員

田 中 常 吉

東京ニ東京植物同好會ナル一會ガアル會ハ其會名ガ示シテ居ル如ク凡ソ植物ニ就テ智識ヲ得ント要求スル人々ノ團體デアツテ明治四十四年十月ノ創立ニ係リ爾後毎月一回舉行シ以テ今日ニ及ンダノデアル始メ東京植物研究會ト稱シタガ後之ヲ現時ノ會名ニ改メタ會員ノ希望ニヨリ牧野富太郎氏ガ會長トナツテ居ラル、同好會ノ例會ハ毎月一回アツテ其月ノ第一ノ日曜日ニ野外ニ出デテ植物ヲ學習スルノデアル之ヲ指導スルハ牧野富太郎氏デアツテ會毎ニ會員ト共ニ相携ヘテ市外ニ出デ或ハ野ニ或ハ山ニ植物ヲ採集シテ實地ニ其名稱識別等ヲ教授シ一日ヲ之レニ費シテ歸家スルヲ常トスル然ドモ冬期ハ野外ノ採集物モ少ナイ故ニ會員ハ定メノ會場ニ集マツテ牧野講師ノ講演ヲ聽キ以テ智識ノ向上ニ力ムルノデアル

會ハ一年ニ一回ハ特ニ遠方ニ旅行シテ採集スルコトニシテアル即チ去年ハ信州ノ淺間山ニ採集シタ會ハ特別ニ夏期ノ植物講習會ヲ開催スルコトガアツテ此際ニハ臨時ニ別ニ講師ヲ招聘シテ其指導ヲ囑託スル、既ニ二三回之ヲ舉行シ幸ニ好成績ヲ舉ゲ來會者ヲシテ満足セシメタ而シテ其時ノ講師ハ理學士田原正人氏デアツテ同氏ハ非常ニ熱心且誠實ニ指導シテ吳レタ、ソレガ爲メニ本會ノ面目モ立ツタ譯デ本會ハ深ク同理學士ニ感謝シテ居ル

又會ハ例會並ニ前述ノ夏期講習會以外ニ更ニ短期講習會ヲ臨時ニ開キ特別ニ講師ヲ招ギテ殊ニ現下ニ最も緊切ナル植物學上ノ題目ニ就テ講述シ是レ亦既ニ二會各數回ノ講義ヲ了シテ亦聽講者ニ非常ノ満足ヲ與ヘタ今後モ尙引續キテ植物學界中ノ専門々々ノ學者ニ依頼シ次會ヲ開カンコトヲ期シテ居ル其第一會ノ講師ハ東京帝國大

學理科大學教授理學博士柴田桂太氏デアッテ其第二會ノ講師ハ同農科大學教授理學博士三宅驥一氏デアッテ今本會ハ誠ニ微々タル會ナルニモ關ハラズ我邦現時第一流ノ博士ヲ招聘シ得タルハ本會ノ甚ダ誇トスル所デアッテ柴田博士モ三宅博士モ平素大學ノ教授並ニ斯學ノ研究ニ非常ニ多忙ナルニ拘ハラズ快ヨク本會ノ請ヲ容レラレテ本會ノ爲メニ指導ノ任ニ當ラレシハ本會ノ特ニ兩博士ニ感謝シテ措カザル所デアアル

本會ハ植物上ノ智識ヲ得ントスル人士又ハ植物ノ趣味ヲ味ハントスル人士ノ入會ヲ歡迎スル故ニ老若ヲ問ハズ男女ヲ論ゼズ又學者タルト素人タルトヲ區別セズ苟モ本會ノ主旨ヲ贊成スル人ハ如何ナル方ノ入會モ甚ダ喜ブ所デアアル殊ニ本會ノ主張ノ一トシテ植物ノ趣味ヲ鼓吹普及センガ爲メニ素人ノ入會シ來ルコトヲ本會ハ最も希望スル、日本廣シト雖ドモ本會ノ様ニ毎月斷エズ野外ニ出テデ實地ニ植物ニ就テ指導スル會ハ横濱植物會ヲ除キテハ恐ラク外ニハ無カロウト思フ今日コンナ會ガアルコソ幸ヒ志アル人々ハ早速入會シテ植物ヲ味ハツテ見テハドウダロウ僅カノ會費デ無限ニ且容易ニ植物ニ就テノ智識ガ得ラレ同時ニ身體ノ健康ヲ助ケル上ニ就テ非常ニ利益ガアルトスレバ天下何物カ此ノ如キ至廉ナモノハナカラウ吾人ハ却テ世人ガ植物ニ就テノ智識ヲ得併セテ健康ヲ増進センガ爲ニ此會ヲ利用センコトヲ希望スル又本會指導者ナル牧野講師ガ多年貯ヘタル腦裏ノ智識ヲ會員總ガカリニテ吸ヒ取り盡シテ同氏ノ頭ヲ穴ダラケノ浮石ノ如クニスルモ亦一興タルヲ失ハヌ牧野氏モ「會員ニ吸ヒ取ラルレバタゞ智識ノ居リ場處ガ變ル丈ケデ敢テ國家ニ損益ナシ故ニ死ナヌ内ニ吸ヒ取レル丈ケ吸ヒ取レ頭ガ輕クナツテヨイ」ト言ツテ居ル様ニモ想ハル、呵々

本會ノ規約ハ左ノ如クデアアル

東京植物同好會規約

- (一) 本會ハ植物ノ智識ヲ廣メ併セテ之レガ趣味ヲ普及セシムルヲ以テ目的トス
- (二) 本會ハ専門ノ講師ヲ聘シテ毎月一回(第一日曜)野外採集會ヲ行フモノトス

(三) 本會々員ハ毎回會費金五拾錢ヲ納ムルモノトス

(四) 本會々員ニアラズシテ採集會ニ出席セントスルモノハ臨時會費トシテ毎回金六拾錢ヲ納ムルモノトス

(五) 本會ハ尙他ノ專門ノ士ニ依囑シ時々短期講習會ヲ開クコトアルベシ

但シ其ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

(六) 本會々員タラントスルモノハ住所、姓名ヲ明記シテ本會事務所ニ申込マルベシ

(七) 本會々員ニシテ三ヶ月以上無斷缺席シタルモノハ退會者ト認ム

(八) 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一 會 長 一 名 一 幹 事 五 名

(九) 幹事ハ會員之ヲ互選シ任期ヲ一ケ年トス

(十) 本會規約ハ會員半數以上ノ同意ヲ得ルニアラザレバ變更スルコトヲ得ザルモノトス

以 上

附 記 野外採集會講師ハ東京帝國大學理科大學講師牧野富太郎氏ニ委囑スルモノトス

本會事務所ハ當分小石川區久堅町五十二番地岡本省三氏方ニ置ク

東京植物同好會

○ 雜 件

○ 第一號正誤

十一頁十行

前途ハ 前述ノ誤

二十六頁十四行

以外ハ 意外ノ誤